

特42

456

訂正
觀世流儀内百拾番

定家

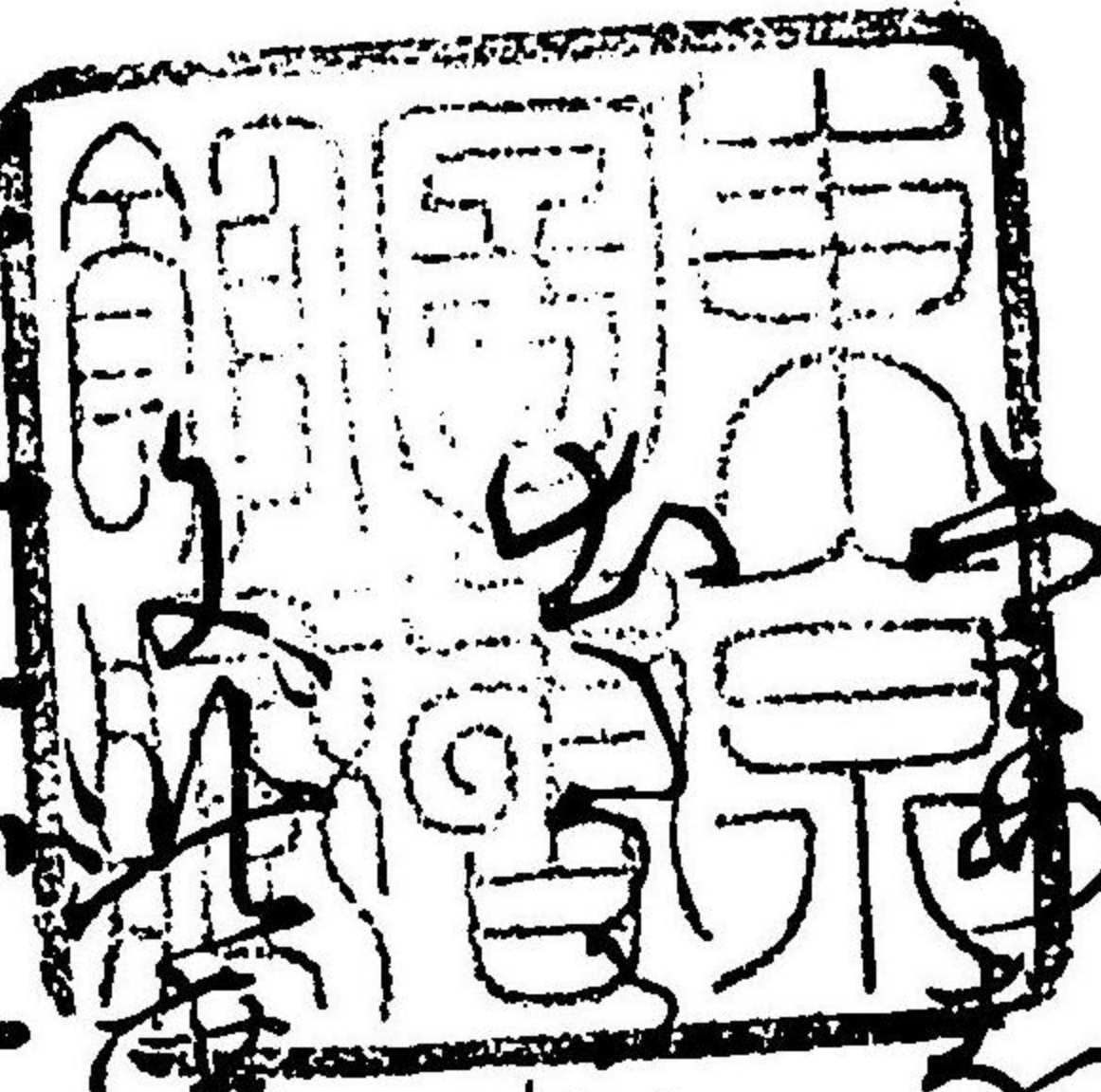
66

定家

山よりいかにお水時多く行なは

あつる際 早向 見へる水國方より

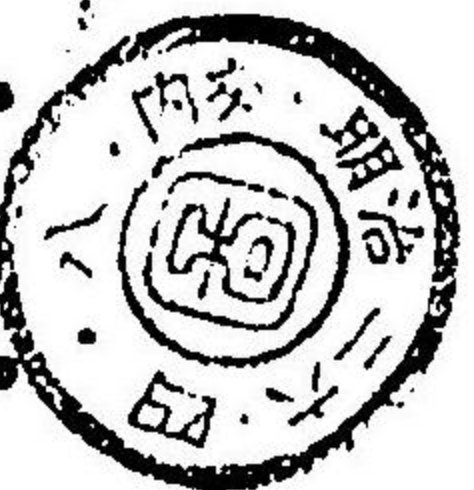
僧あつては林末部をまゝに



山に度思ふ立都より さうり 立

や松の衣のあつたま ウヤク 雲も

かたがは トク 雲のさうり トク 雲も



其の如くもさうして其の事もあつた
 うに様々の様にも也 ^甲 ^乙 ^丙 ^丁 ^戊 ^己 ^庚 ^辛 ^壬 ^癸
 類々として其の事もあつた
 柄面自社の目を見らる成人のたて
 直れす可き ^女 身入藤原の
 定家了らたぐ直りしあつた
 の ^甲 ^乙 ^丙 ^丁 ^戊 ^己 ^庚 ^辛 ^壬 ^癸

其の如くもさうして其の事もあつた
 類々として其の事もあつた
 柄面自社の目を見らる成人のたて
 直れす可き ^女 身入藤原の
 定家了らたぐ直りしあつた
 の ^甲 ^乙 ^丙 ^丁 ^戊 ^己 ^庚 ^辛 ^壬 ^癸

其の如く

一

其の如くもさうして其の事もあつた

祿のたぐ真ぶ入可も借と時ぬ
 ちかひし宿の亭んすのりいり葉
 ちこ^女さかたあまあは母あめのは
 の亭とあれたあてさかたさかてい
 去あうる時雨時とたひるひあひら
 ちりひあまきあつさつ新^月さるま
 ちかひの時ぬ物くけりさるまに

くの家よしてちかたをまらむと
 ちか^{甲上}くち
 げもあきりさつあひあひ
 跡^女あつちあひあひと語れ
 ちか^{甲上}後^{甲上}のちよ^{甲上}他^{甲上}の縁^{甲上}ちか
 是^{甲上}一^{甲上}樹^{甲上}の陰^{甲上}の^{甲上}宿^{甲上}の^{甲上}流^{甲上}
 とぬ^{甲上}たよ^{甲上}ちか^{甲上}と^{甲上}物^{甲上}ちか^{甲上}よ

上

今... 富... 昔... 所... ありて...
 ... 具... 人... の... 氣... を... 知... 言...
 ... 家... の... 行... 端... の...
 ... 夕... 時... 處... あり... 後... あり... 庭... も... 離...
 ... 露... 宿... 宿... も... あり... 村... あり...
 ... あり... あり... あり...

甲

福... 莫... 可... 入... あり... あり... あり...

甲

... あり... あり... あり...

女

... あり... あり... あり...

上女

ヤラ

一 一 君りしむに^{ヤラ}君の^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}き^{ヤラ}て^{ヤラ}
 一 一 一 思入^{ヤラ}も^{ヤラ}し^{ヤラ}御^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 此は^{ヤラ}御^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 尊^{ヤラ}の^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 髪^{ヤラ}も^{ヤラ}し^{ヤラ}御^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 事^{ヤラ}執^{ヤラ}も^{ヤラ}し^{ヤラ}御^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}

上女

一 一 一 御^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 誰^{ヤラ}と^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 名^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 草^{ヤラ}の^{ヤラ}心^{ヤラ}も^{ヤラ}あ^{ヤラ}ら^{ヤラ}ず^{ヤラ}
 一 一 一 式^{ヤラ}子^{ヤラ}内^{ヤラ}親^{ヤラ}王^{ヤラ}具^{ヤラ}を^{ヤラ}み^{ヤラ}し^{ヤラ}君^{ヤラ}れ^{ヤラ}去^{ヤラ}ま^{ヤラ}

富^一あ^一る^一く^一し^一る^一家^一の^一り^一
 是^一の^一く^一し^一る^一僧^一 甲上 愚^一痛^一の^一法^一
 権^一あ^一る^一く^一し^一る^一も^一佛^一平^一お^一説^一如^一味^一
 雨^一隨^一宿^一世^一所^一受^一高^一 下女 法^一院^一を^一ま^一
 身^一あ^一る^一く^一し^一る^一立^一居^一考^一よ^一あ^一る^一跡^一法^一
 昔^一の^一家^一 中 法^一院^一を^一ま^一
 了^一る^一く^一し^一る^一法^一院^一を^一ま^一

九

九

上^一の^一讀^一誦^一志^一終^一る^一藥^一苦^一踏^一糸^一の^一り^一
 中^一の^一あ^一る^一く^一し^一る^一典^一よ^一あ^一る^一草^一本^一
 ち^一の^一あ^一る^一く^一し^一る^一然^一の^一り^一 掛
 へ^一の^一道^一あ^一る^一く^一し^一る^一 女中 ち^一の^一あ^一る^一く^一し^一る^一

甲上^一の^一あ^一る^一く^一し^一る^一 見 ^一る^一く^一し^一る^一
 甲上^一の^一あ^一る^一く^一し^一る^一 用 ^一る^一く^一し^一る^一
 甲上^一の^一あ^一る^一く^一し^一る^一 上 ^一る^一く^一し^一る^一
 甲上^一の^一あ^一る^一く^一し^一る^一 味 ^一る^一く^一し^一る^一

法乃雨の志さるる皆ふるちひて草
 本園去懸皆吹公のまをえぬき入
 家葛もか系後毛ほろくもけ
 ひろこれのちろくくも弱車火事
 をとび有難はよ此報恩よいき
 けさるあやうを井の花の神首を
 今よむひある其舞姫のをささる毛

上女 下下 地 上女 男 下
 杉もなの舞の 下 杉もあもあ
 の舞ありのあもあ 女 杉もあもあ
 もの乃が杉もあ 女 本より此の
 上 月れ身をも 下 女 舞多かちよ 上 地
 乃まのすも 下 女 杉らあもあ
 青 露の消てもつるあもあ 女 葛の
 城の杉もあもあ 女 杉らあもあ

下下

上

三十一
 契れ夢の平きさつる可い海さ
 辭の夢のぞいれさつる可い海さ
 や家家のつらさつる可い海さ
 うらのさつる可い海さ
 けさつる可い海さ

右之本者觀世大夫織部以章句
 真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入所
 山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷
 明治廿六年二月同日訂正出版
 明治廿六年三月廿九日別製本御届

定價三錢五厘

東京市麹町區飯田町四丁目吉番地
 宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所 京都市上京區二条通御幸町西下
 兼印刷者 檜常之助



